令和７年度

幌延町教育委員会点検・評価報告書

令和８年８月

幌 延 町 教 育 委 員 会

― 目　次 ―

はじめに　・・・・・　1

1　点検評価の趣旨　・・・・・　1

2　点検・評価の対象　・・・・・　1

3　点検・評価の方法　・・・・・　2

4　学識経験者の知見の活用　・・・・・　2

第１　教育委員会の活動状況　・・・・・　3

1　教育委員会委員名簿　・・・・・　3

2　教育委員会議等の開催状況　・・・・・　3

3　教育委員会議案、報告・協議内容　・・・・・　3

4　教育委員会教育委員の主な活動状況　・・・・・　5

5　教育委員会関係委員会の活動状況　・・・・・　6

6　教育委員会が交付した補助金一覧　・・・・・　8

第２　令和７年度幌延町教育委員会点検・評価書

◇幌延町学校概要　・・・・・　9

◇学校教育の充実　～ 学ぶ権利の保障 ～　・・・・・　10

◇幌延町社会教育施設の利用状況　・・・・・　15

◇社会教育　・・・・・　16
～ 共に学び･共に育み･共に創る郷土に根ざすひとづくり ～

第３　点検評価に関する外部評価　・・・・・　19

はじめに

1　点検評価の趣旨

平成19年６月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会は毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和７年度の教育委員会の点検及び評価をまとめて報告するものです。

○　地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2　点検・評価の対象

点検・評価の対象は、令和７年度における教育委員会の主要な施策・事業のうち、幌延町教育行政執行方針の施策に基づく事務事業とし、次の４項目12の事業内容を、44細目について評価を行っております。

□　学校教育の充実

1　学ぶ権利の保障

⑴　教育内容の充実

①　学力・体力の向上

②　豊かな心の育成

③　特別支援教育の推進

④　特色ある教育の推進

⑵　教育環境の充実

⑶　教職員の資質、指導力の向上

□　社会教育　～共に学び･共に育み･共に創る　郷土に根ざすひとづくり～

1　生涯教育の推進

⑴　生涯学習の環境づくり

⑵　学習機会・活動の充実

2　生涯スポーツの振興

⑴　生涯スポーツの利用促進と施設等の整備

⑵　指導者の育成とスポーツ団体への支援

3　芸術文化の振興

⑴　芸術文化事業の推進

⑵　芸術文化活動の促進

3　点検・評価の方法

この点検・評価にあたっては、令和７年度の施策、個別事業ごとに事業内容を示すとともに、事業成果や課題を分析し、今後の方向性を示しております。

4　学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った活動状況や施策の実施状況について、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検・評価に関する意見・助言をいただきました。

外部評価委員

氏　　名	役　　職　　名
高　木　健太郎	国立大学法人北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 森林圏ステーション　名寄教育研究棟（北管理部）　部長
冨士元　寿　彦	前　幌延町教育委員会　委員

第１　教育委員会の活動状況

１　教育委員会委員名簿

職　　名	氏　　名	就任年月日	任　　期
教　育　長	伊　藤　一　男	R7.4.1	R7.10.1～R10.9.30
委　　員 （教育長職務代理者）	澤　谷　敦　美	H22.1.1	R7.10.1～R11.9.30
委　　員	堀　　英　夫	H24.10.1	R6.10.1～R10.9.30
委　　員	前　田　雅　信	R1.10.1	R5.10.1～R9.9.30
委　　員	佐　藤　友　子	R1.11.1	R4.10.1～R8.9.30

２　教育委員会議等の開催状況等

項　　目	教育委員会議	町　　議　　会	学校行事・学校訪問等
回数・件数	１２　回	７　回　・　　９　日	１６　件

３　教育委員会議議案、報告・協議内容

開 催 日	件　　名
第５回 4月 4日	（報告） ❑教育長の任命について ❑教育長職務代理者の指名について
第６回 4月24日	（報告） ❑幌延町立学校学級編成及び教職員の配置状況について ❑幌延町教育委員会外部評価委員の委嘱について ❑幌延町放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について （協議） ❑幌延町社会教育委員兼幌延町生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について ❑幌延町放課後子ども教室実施要綱の一部を改正する訓令の制定について ❑令和６年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について ❑令和７年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について ❑令和７年度幌延町奨学生候補者について
第７回 6月 3日	（報告） ❑幌延町放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について ❑幌延町学校給食アレルギー対応連絡協議会委員の委嘱について ❑幌延町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ❑幌延情報教育センター運営委員会委員の委嘱について ❑幌延町立学校施設建設アドバイザーの委嘱について ❑幌延町第７次社会教育中期計画に係る令和６年度指標評価について
	（協議） ❑幌延町地区体育館条例の一部を改正する条例の制定について ❑教育財産の処分について（上問寒地区体育館） ❑財産の取得について（問寒別地区スクールバス購入） ❑財産の取得について（小中学校学習用端末機器購入） ❑幌延町健康増進施設管理規則の一部を改正する規則の制定について ❑令和７年度幌延町社会教育推進計画について ❑令和７年度教育費補正予算の要求について ❑教育行政の概要報告について

開 催 日	件　　名
第８回 6月26日	（協議） ❑幌延町第８次社会教育中期計画策定委員会設置要綱の制定について ❑幌延町第８次社会教育中期計画策定の諮問について ❑幌延町第８次社会教育中期計画策定委員会委員の委嘱について
第９回 8月28日	（報告） ❑令和７年度特別支援教育就学奨励費支給区分の決定報告について
	（協議） ❑幌延町教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について ❑令和６年度教育事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価について ❑令和７年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について ❑令和７年度教育費補正予算の要求について ❑教育行政の概要報告について
第10回 10月1日	（報告） ❑教育長の任命について ❑教育委員の任命について ❑教育長職務代理者の指名について
第11回 10月29日	（報告） ❑令和７年度全国学力・学習状況調査「市町村別結果」の公表に関する町民への周知について
第12回 11月20日	（協議） ❑令和７年度教育費補正予算（12月）の要求について ❑教育行政の概要報告について
第13回 12月23日	（報告） ❑幌延町教育支援委員会委員の委嘱について
	（協議） ❑幌延町特別支援教育支援員服務規程の一部を改正する訓令の制定について
第１回 1月27日	（協議） ❑令和７年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について
第２回 2月26日	（協議） ❑令和７年度教育費補正予算（３月）の要求について ❑令和７年度教育行政の概要報告について ❑令和８年度教育行政執行方針について ❑令和８年度教育費当初予算の要求について
第３回 3月25日	（報告） ❑幌延町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について （協議） ❑幌延町立学校における働き方改革アクション・プラン（第３期）の一部改訂について ❑幌延町教育委員会事務局及び教育機関職員の職の設置に関する規則及び幌延町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について ❑幌延町文化・スポーツ大会等参加補助金交付要綱の一部を改正する訓令の制定について ❑幌延町立学校教職員の人事異動について ❑教育委員会事務局職員の発令について ❑学校歯科医の委嘱について ❑学校薬剤師の委嘱について ❑幌延町教育委員会に関わる各種委員等の委嘱について ❑令和８年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

４　教育委員会教育委員の主な活動状況

（１）令和７年度幌延町公立学校新任教職員着任式 R7.4.4
（２）令和７年度第１回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議 他(稚内市) R7.4.11
（３）令和７年度幌延町教育研究所総会(豊富町) R7.4.16
（４）第１回公立高等学校配置計画地域別検討協議会〔宗谷学区〕(web) R7.4.25
（５）令和７年度第１回宗谷管内学力保障会議(web) R7.5.21
（６）令和７年度宗谷管内コンプライアンス確立会議(web) R7.5.28
（７）令和７年度宗谷管内教育委員会連絡協議会総会(web) R7.6.9
（８）宗谷管内公立小中学校教職員人事推進会議(web) R7.7.3
（９）令和７年度小中一貫校先進地視察（富良野市 他） R7.7.10～11
（10）令和７年度第２回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議(web) R7.7.11
（11）第２回公立高等学校配置計画地域別検討協議会〔留萌学区〕(web) R7.7.14
（12）令和７年度第６０回北海道市町村教育委員研修会（札幌市） R7.7.16～17
（13）第２回公立高等学校配置計画地域別検討協議会〔宗谷管内〕(web) R7.7.24
（14）令和７年度宗谷管内学校経営研究大会（稚内市） R7.7.30
（15）令和７年度第２回宗谷管内学力保障会議(web) R7.8.28
（16）臨時宗谷管内市町村教育委員会連絡協議会教育長部会(web) R7.9.5
（17）緊急不祥事防止対策会議(web) R7.9.19
（18）令和７年度宗谷管内市町村教育委員会研修会 (web) R7.9.29
（19）北海道町村教育委員会連合協議会教育長部会研修会（札幌市） R7.10.15～16
（20）令和８年度当初教職員人事に係る教育長意見聴取(web) R7.10.17
（21）令和７年度幌延町・豊富町合同学校経営研究協議会 R7.11.5
（22）令和７年度市町村教育委員会委員研修会 (web) R7.11.28
（23）令和７年度第３回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議(web) R7.12.17
（24）令和８年「二十歳の集い」 R8.1.5
（25）令和７年度第３回宗谷管内学力保障会議(web) R8.2.25
（26）令和７年度第４回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議 他(web) R8.3.5
（27）議会関係　　定例会（４回）・臨時会（３回）・常任委員会（６回）
（26）その他関連事業

区　　分	入　学　式	運動会／体育大会	学習発表会／学校祭／学芸会	卒　業　式
幌延小学校	4月8日	6月7日	10月18日	3月19日
幌延中学校	4月7日	5月31日	9月28日	3月13日
問寒別小中学校	4月7日	6月15日	10月19日	3月15日

5　教育委員会関連委員会の活動状況

（１）社会教育委員

① 第１回社会教育委員会議
期日　令和7年5月23日
内容　第７次社会教育中期計画に係る令和６年度事業指標評価について 他

② 第２回社会教育委員会議
期日　令和8年3月24日
内容　令和８年度社会教育推進計画（案）について 他

（２）文化財専門委員

① 第１回文化財専門委員会議
期日　令和7年7月4日
内容　令和７年度事業計画（案）について 他

② 第２回文化財専門委員会議
期日　令和8年2月24日
内容　令和８年度幌延町史跡・標柱パトロールについて 他

（３）スポーツ推進委員

① 第１回スポーツ推進委員会議
期日　令和7年5月8日
内容　令和６年度社会体育事業実施報告及び令和７年度事業計画（案） 他

② 第２回スポーツ推進委員会議
期日　令和7年12月17日
内容　社会体育事業中間報告について 他

（４）放課後子ども教室運営委員

① 第１回幌延町放課後子ども教室運営委員会
期日　令和7年5月9日
内容　令和６年度事業実績報告及び７年度事業計画（案）について　他

② 第２回幌延町放課後子ども教室運営委員会
期日　令和8年1月26日
内容　放課後活動推進協議会に関する報告　他

（５）幌延情報教育センター運営委員

① 第１回幌延情報教育センター運営委員会（web）〔所員会議と合同開催〕
期日　令和7年4月25日
内容　令和７年度事業計画（案）について 他

② 第２回幌延情報教育センター運営委員会（web）〔所員会議と合同開催〕
期日　令和8年2月17日
内容　令和７年度事業報告、令和８年度計画（案） 他

（６）教育支援委員

① 第１回教育支援委員会議
期日　令和7年12月26日
内容　令和８年度適正就学判断について 他

（７）学校運営協議会委員（幌延地区）

① 第１回幌延小中学校運営協議会
期日　令和7年5月20日
内容　令和７年度学校経営の概要報告及び承認について 他

② 第２回幌延小中学校運営協議会
期日　令和7年10月21日
内容　１学期学校評価の結果と２学期の取り組み　他

③ 第３回幌延小中学校運営協議会
期日　令和8年3月2日
内容　２学期学校評価の結果と３学期の取り組み　他

（８）学校運営協議会委員（問寒別地区）

① 第１回問寒別小中学校運営協議会
期日　令和7年7月18日
内容　令和７年度学校経営の概要報告及び承認について　他

② 第２回問寒別小中学校運営協議会
期日　令和7年12月15日
内容　小中学校のこれまでの教育活動について　他

③ 第３回問寒別小中学校運営協議会
期日　令和8年3月5日
内容　今年度の教育活動について、情報交流　他

（９）学校給食センター運営委員

① 第１回学校給食センター運営委員会議（書面開催）
期日　令和8年3月31日
内容　令和７年度学校給食会会計収支決算見込みについて　他

(10) 幌延町第８次社会教育中期計画策定委員会

① 第１回社会教育中期計画策定委員会議
期日　令和7年8月7日
内容　第８次社会教育中期計画策定について（諮問）　他

② 第２回社会教育中期計画策定委員会議
期日　令和7年12月18日
内容　第８次社会教育中期計画策定の方向性・評価方法について　他

③ 第３回社会教育中期計画策定委員会議
期日　令和8年1月29日
内容　第８次社会教育中期計画目標（スローガン）について　他

④ 第４回社会教育中期計画策定委員会議
期日　令和8年3月10日
内容　第８次社会教育中期計画原案協議・校正について　他

(11) 教育委員会外部評価委員

① 第１回教育事務執行外部評価会議
期日　令和7年8月19日
内容　令和６年度教育委員会点検・評価報告書について　他

② 第２回教育事務執行外部評価会議
期日　令和7年8月26日
内容　外部評価について(点検及び評価に関する意見)　他

(12) その他

① 幌延小中学校運営協議会・幌延中学校区小中一貫教育検討部会
開催回数　４回（5/20、10/21、12/23、3/2）
内　容　幌延中学校区小中一貫校実施設計内容について　他

6　教育委員会が交付した補助金一覧

（1）総務学校係所管

補助事業名	補助事業者	補助金額
学習支援活動事業運営補助	幌延ラーニング・サポート・クラブ	1,440,000円
中体連各種大会参加費補助	幌延中学校父母と先生の会	2,206,912円
幌延町集落支援員活動補助	松田　大地	476,400円
幌延町教育研究所運営費補助	幌延町教育研究所	489,564円
幌延小学校校内研修費補助	幌延町立幌延小学校	110,000円
幌延中学校校内研修費補助	幌延町立幌延中学校	109,367円
問寒別小中学校校内研修費補助	幌延町立問寒別小中学校	108,476円
児童生徒学力向上支援事業補助（英検）	幌延町立幌延小学校	20,400円
児童生徒学力向上支援事業補助（漢検）	幌延町立幌延小学校	39,000円
児童生徒学力向上支援事業補助（英検）	幌延町立幌延中学校	56,330円
児童生徒学力向上支援事業補助（漢検）	幌延町立幌延中学校	7,760円
児童生徒学力向上支援事業補助（漢検）	幌延町立問寒別小中学校	8,000円
幌延町立学校修学旅行費補助	幌延町立幌延小学校	49,434円
幌延町立学校修学旅行費補助	幌延町立幌延中学校	293,090円
幌延町学校給食会運営費補助	幌延町学校給食会	3,601,959円

（2）社会教育係所管

補助事業名	補助事業者	補助金額
幌延町ＰＴＡ連合協議会事業	幌延町ＰＴＡ連合協議会	21,000円
幌延町文化協会運営事業	幌延町文化協会	240,000円
幌延町子ども会育成連絡協議会事業	幌延町子ども会育成連絡協議会	240,000円
ワラベンチャー問寒クラブ事業	ワラベンチャー問寒クラブ	135,000円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（百人一首）＜全道＞小・中	幌延町子ども会育成連絡協議会	110,000円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾋﾟｱﾉ）＜全国＞小	菅野　恵子	241,754円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾋﾟｱﾉ）＜全国＞小	松島　みなみ	196,259円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾋﾟｱﾉ）＜全道＞小	橋本　麻裕子	30,400円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾋﾟｱﾉ）＜全国＞小	橋本　麻裕子	165,143円
幌延町スポーツ協会活動補助事業	幌延町スポーツ協会	393,000円
幌延スポーツ少年団本部活動補助事業	幌延町スポーツ少年団本部	178,000円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（野球）＜全道＞中	幌延野球スポーツ少年団父母の会	40,440円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（剣道）＜全道＞小	幌延剣道スポーツ少年団後援会	50,592円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾊﾞﾚｰ）＜全道＞小	幌延バレーボール少年団父母の会	36,124円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾊﾞﾚｰ）＜全道＞小	幌延バレーボール少年団父母の会	125,632円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾊﾞﾚｰ）＜全道＞小	幌延バレーボール少年団父母の会	135,467円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾊﾞﾚｰ）＜全道＞中	幌延バレーボール少年団父母の会	46,602円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾊﾞﾚｰ）＜全道＞中	幌延バレーボール少年団父母の会	73,046円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾊﾞﾚｰ）＜全国＞中	幌延バレーボール少年団父母の会	40,080円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾊﾞﾚｰ）＜全国＞中	幌延バレーボール少年団父母の会	127,155円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾊﾞｽｹ）＜全道＞小	櫻井　彰孝	31,060円
幌延町文化ｽﾎﾟｰﾂ大会参加補助事業（ﾊﾞｽｹ）＜全道＞小	櫻井　彰孝	11,306円

第２　令和７年度幌延町教育委員会点検・評価書

1　幌延町学校概要

区　分	特色ある教育活動・経営の重点
学校教育の充実 「学ぶ権利の保障」	□　**幌延小学校（令和６年３月改訂）** ○学校の教育目標「自ら考え、仲間と共に行動する子ども」 自律～自分らしさを大切に、粘り強く 挑戦しようとする子ども 尊重～感謝や思いやりの気持ちを大切に、 互いを認め合える子ども 協働～多様な人とのつながりを大切に、 良い学校を創ろうとする子ども ○年度の重点『主体的に学びに向かい、 自ら考えを表現し、他者と協働できる子』 □　**幌延中学校（令和６年４月改訂）** ○学校の教育目標「日本一温かな学校を目指して」 １ 挑戦する生徒（自律） ２ やさしい生徒（尊重） ３ 支え合う生徒（協働） ○年度の重点『挑戦する生徒の育成』 ～生徒一人一人の自己実現に向けた挑戦～ □　**問寒別小中学校（令和５年４月改訂）** ○学校の教育目標 ◇自分で考え、判断し、行動する子ども ◇自分と相手を大切にする子ども ◇いろいろな人と協力し合える子ども ○年度の重点 ～自分の良さや可能性の認識と他者を尊重し 多様な人と協働できる児童生徒の育成～

❑学校教育
「持続可能な社会の創り手となる子ども」を育成することを目標に据え、そのキーワードとして、「自律」「尊重」「協働」を掲げ、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いて行けるよう、その資質・能力を育む場として教育活動を進める。

幌　延　町　学　校　概　要　（令和７年５月１日現在）

◎　幌延町の小中学校の児童・生徒数、教員の配置状況は以下のとおりです。人口の減少や少子化により、幌延中学校区において児童・生徒数の減少が見込まれる。

学校名	へき地級	学級数 普通	学級数 特別支援	教職員数（定数３４名＋加配５名） 校長他 普通	校長他 特別支援	加配教諭	養護教諭	栄養教諭	事務職員	計	児童・生徒数（下段：特別支援外数） 1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
幌延小学校	2級	6	2	8	2	3	1	1	1	16	7 (1)	15	14	13 (1)	13	16 (2)	82
問寒別小学校	3級	3	0	4	－	－	1	－	－	5	2	1	0	2	2	2	9
幌延中学校	2級	3	1	9	1	2	1	－	1	14	15	16 (1)	15				47
問寒別中学校	3級	1	1	3	1	－	－	－	－	4	2 (1)	0	0				3
計		13	4	24	4	5	3	1	2	39	26 (2)	32 (1)	29 (0)	15 (1)	15 (0)	18 (2)	141

※ 年度別児童生徒予定者数
（単純算出）

学校名＼年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
幌延小学校	82	77	76	75	70	60
問寒別小学校	9	8	7	8	8	8
幌延中学校	47	48	45	45	41	43
問寒別中学校	3	5	7	6	4	3
計	141	138	135	134	123	114

2　学校教育の充実

担当		総務学校係	事業内容	点検・評価と課題	方向性
区分	執行方針要点	個別事業名			（拡大･継続･改善･縮小･廃止）
学校教育の充実	◇ 学ぶ権利の保障	◎ 教育内容の充実 ○ 学力・体力の向上	■個に応じた指導方法工夫改善 ❑指導方法工夫改善加配による取組（幌小１名加配） ❑新しいかたちの学びの授業力向上推進事業加配による取組（幌小１名加配） ❑学校力向上に関する総合実践事業加配による取組（幌中１名加配） ❑免許外教科担任解消加配の配置（幌中１名加配） ❑教育支援員(集落支援員)の配置(幌中１名) ❑基礎･基本の定着の充実 ❑ICTの活用 ❑学習習慣の確立	☆複数教員（Ｔ・Ｔ）による少人数指導や個別指導の充実に努めた ☆基礎・基本の定着学習や放課後学習の実施、複式教育の授業技術の向上に努めた ☆家庭での学習習慣の確立に努めた ☆朝の活動ﾀｲﾑ(漢字･計算･音読等)の充実を図った ☆教育ICTの日常的活用を推進した ☆生活リズムチェックシートの定期活用を図った	継続 ＊加配の継続要望
			■学習成果の活用 ❑全国学力･学習状況調査の結果分析 ❑宗谷管内子どもの学力向上「Sｻﾎﾟｰﾄ」の活用 ・ほっかいどうチャレンジテストの実施 ・Ｓサポート問題の実施 ❑NRT、CRT検査の実施、結果分析 ❑各学校における学力向上プランの作成	☆各調査問題等を実施し、その結果の分析を行い、短期的な検証改善サイクルを確立するとともに、各学校において学力向上プランを作成し、全ての児童生徒の学力の確実な定着と学習意欲の向上を図るための取組を推進した	継続 ＊継続要望
			■小中一貫教育の充実 ❑コミュニティースクールを活用した検討部会による熟議 ❑保護者・地域住民・議会等での説明 ❑幌延中学校区小中一貫校建設実施設計の実施 ・基本計画に基づいた実施設計を進めたが、工事価格の急騰が見込まれたため、規模を縮小して実施することを決定（実施設計延長）	☆幌延中学校区小中一貫教育検討部会を幌延小中学校運営協議会内に組織し、実施設計等に関する協議を４回行った	継続 ＊小中一貫校開校に向けた熟議
			■学習成果の活用 ❑全国体力･運動能力等調査の結果分析 ❑各学校における体力向上プランの作成 ❑各学級で新体力テストの実施、結果分析 ❑体育専科教員巡回指導事業の実施	☆調査結果の分析を行い、目標、改善方法、実施計画、評価方法を示し、日常の授業等における改善及び工夫を図った ☆加配教員による体育授業改善のための支援や指導助言を通して、小学校教員の指導力向上及び児童の体力向上に向けた取組の充実を図った	継続 ＊継続要望
			■学校給食の円滑実施 ❑運営委員会による給食センターの計画、運営の審議等 ❑学校給食会による予算計画、決算等の審議 ❑学校による保護者等ふれあい給食会の実施 ・幌小２回（①１年／②６年） ・問小中２回（①新１年／②全校） ❑アレルギー調査票に基づく適切な学校給食対応	☆安全で充実した学校給食の提供を図った ☆参観日や１日入学等で、地域の方や保護者対象にふれあい給食会等を実施し、学校給食への理解促進を図った ☆ｱﾚﾙｷﾞｰ対象児童生徒への対応と栄養管理に努めた	継続 ＊安心安全な給食の実施

担当		総務学校係	事業内容	点検・評価と課題	方向性
区分	執行方針要点	個別事業名			（拡大･継続･改善･縮小･廃止）
			■食育の推進 ❑学校栄養教諭の配置 ❑食に関する正しい知識と望ましい食習慣の普及 （平成17年4月～栄養教諭制度の創設、施行） ❑地場産食材を取り入れた給食の提供 ❑児童生徒の牛乳代相当額の助成 ❑食材費高騰対策として米代相当を助成	☆栄養教諭配置で、食育指導体制が図れた（食への感謝、食事のマナー、食習慣の見直し） ☆元気な体づくりと食習慣の大切さを理解させることができた ☆地場産の食材を理解させることができた ☆保護者世帯の負担軽減を図ることができた	継続 ＊食への関心、マナーの指導
			■少年少女陸上記録会 ❑少年少女陸上記録会（第54回）の実施 ・6/27実施（４種目６つの新記録） ①50m走　1年男子、2年女子 ②80m走　3年女子、4年男子 ③800m走　5.6年女子 ④走り幅跳び　1.2年女子	☆自己記録の更新に挑戦した ☆交流昼食会及び交流授業を実施し、各学年が親睦を深めた	改善・縮小 ＊Ｒ８年度の実施をもって終了
		○ 豊かな心の育成	■アンケート調査の実施 ❑「楽しい学校生活を送るためのアンケート」や「いじめアンケート」の実施	☆一人一人の児童生徒の状況を把握し、より良い学校生活を送れるように実施した	継続
			■子どもの心サポート相談員配置 ❑児童生徒の悩み、ストレス等を和らげることができる第三者の配置 ・週３日、年40週 ・平成14年度から幌中に１名配置	☆親や担任以外の人との係わりで、悩みや不安を解消して行く環境づくりを進める	継続
			■道徳教育の充実 ❑基本的な倫理観や規範意識の醸成 ❑自らの生き方を主体的に考える力の育成 ❑幌中、問中の合同学習については都合により未実施	☆参観日や研修会で授業を公開し、道徳教育の充実に努めた ☆遠隔授業を含む合同学習により、多様な考え方に接し、考えを深める道徳科授業を実施する	継続
			■読書活動の推進 ❑児童生徒用図書の購入（R7） ・幌小 120冊、問小 61冊 ・幌中 107冊、問中 66冊 ❑蔵書数(R8.3月末現在) ・幌小 8,671冊、問小 3,524冊 ・幌中 6,593冊、問中 4,809冊	☆図書室の整備をとおし、豊かな感性や情操教育を育むための読書指導に取組むことができた ☆始業前の一斉読書活動、休み時間、自由時間の利用、低学年からの図書室利用、環境作りの推進を図った	継続 ＊読書習慣の育成と環境づくり
			■少年少女文化祭 ❑少年少女文化祭（第45回）の実施 ・幌延地区　　11/7～11/13 ・問寒別地区　11/15～11/20	☆作文、絵画、工作作品等の日頃の成果を発表しあい、作品交流を行った	継続

担当 区分	担当 執行方針要点	総務学校係 個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	方向性（拡大･継続･改善･縮小･廃止）
		○ 特別支援教育の推進	■特別支援教育支援員配置 ❑幌延小学校　５名配置 ・週５日、年40週 ・平成18年度から幌小に配置 ・令和７年度　１名増員	☆支援員の配置により新入学児童が早期に学校生活に慣れ、スムーズな学級経営を図ることができた ☆低学年の通常学級に在籍し、支援を要する児童についても適切な指導をすることができた	継続
			■特別支援教育連携協議会の活動 ❑特別支援教育連携協議会の設置･運営 ・教育相談　２回 ・専門部会議２回 ・特別支援学級　小中４学級［６名］ （幌小２、幌中１、問中１） ・子育てファイルの活用	☆協議会の運営により、児童生徒の実態や関係機関による情報の共有が図られ、障害の種類や程度に応じた適切な指導が行われた ☆子育てファイルを活用し、個々に応じた的確な教育的支援に努めた	継続
		○ 特色ある教育の推進	■ふるさと教育と学習支援の推進 ❑総合的な学習の時間を中心に自然環境、社会環境、人材活用を充実させる事業の推進 ・学校園活用　・農業体験学習 ・森林教室　・川の観察会 ❑地域の学習支援活動団体への補助 ❑漢検への補助 【漢検】幌小39名／幌中６名／問小中８名	☆自然や農業に係わり、触れ合う体験の機会、食料生産の理解を深める学習を実施することができた ☆草花･樹木･川の観察調べでは、自然の大切さ、環境保全への意識化を図ることができた ☆町内児童生徒の学力向上や学習習慣の定着のための学習支援活動行う地域の団体へ支援を図った	継続
			■情報教育の推進 ❑情報教育センターの運営、研究推進 ❑ＴＶ会議システム等を活用した遠隔授業の実施 ❑１人１台端末を活用した教育活動の充実 ❑GIGAｽｸｰﾙ構想に基づくICT環境の整備 ❑臨時休業時等の家庭学習支援（オンライン学習）の実施環境の維持促進 ❑学校ネットワーク等の保守による情報セキュリティの維持	☆ＩＣＴを活用した授業の計画的、効果的取組と機器操作できる教師の育成を図った ☆ＡＩドリルやデジタル図書等の利用環境を整備し多様な場面での端末活用の推進を図った ☆児童生徒の情報活用能力の育成を図った ☆一人一台端末及び学校ﾈｯﾄﾜｰｸの環境整備を図った ☆オンライン学習のために、臨時休業時だけでなく日常的に1人1台端末を家庭へ持ち帰ることを想定し、保護者から理解を得て教育活動を実施する環境を維持促進した ☆校務用ＰＣを含めた校務系端末の運用環境の保守を継続し、セキュリティ環境を維持した上で、校務の円滑化を図った	継続 ＊情報教育環境の整備
			■国際理解教育の推進 ❑小中学校の英語科(小５～中３)、小学校の外国語(小３･４年)及び生活科(小１･２年)の授業でのＡＬＴ、外部講師、学習支援員の活用 ❑生きた語学を学ぶ機会の提供 ・委託ＡＬＴ(ｱﾚｸｼｽ氏)　263回 ・外部講師(ｷｬｼｨ氏)　19回 ・学習支援員(宮古氏)による授業サポート ❑英検IBA（中１～３）、英検ESG（小６）の実施 ❑英検の検定料補助（２級まで） 【英検】幌小７名／幌中15名／問小中０名	☆小学校の新学習指導要領に対応した外国語活動や英語科の指導内容の質の確保、及び更なるグローバル化に対応した教育環境を整備するため、委託ＡＬＴ及び外部講師に加えて、英語に特化した「学習支援員」を１名配置し、外国語教育の充実と国際理解教育の推進を図った ☆外国語活動（小３～小４）、外国語（小５～小６） ☆道の事業により生徒の英語力･意欲の向上を図った	継続 ＊学習支援員、ＡＬＴ、外部講師の効果的活用

担当		総務学校係	事業内容	点検・評価と課題	方向性
区分	執行方針要点	個別事業名			（拡大･継続･改善･縮小･廃止）
		◎ 教育環境の充実	■安全･安心で健やかな学校及び地域 ❑青少年健全育成連絡協議会　年２回開催 ❑通学路安全推進会議　年２回開催 ・通学路交通安全プログラムの策定等	☆青少年健全育成連絡協議会の定期開催や関係会員との情報交換を行い、課題等を共有することができた ☆プログラムに基づき、会議や通学路の合同点検を実施し、児童生徒の安全確保に努めた	継続 ＊関係機関、地域との連携
			■給食施設･設備の整備 ❑衛生管理の徹底を図る ❑厨房設備等の更新計画策定	☆保健所による、学校給食一斉点検指導を受け衛生管理を行っている ☆適宜適切な施設の改修を行った	継続 ＊適正な維持管理
			■学校運営協議会（ＣＳ）の設置 ❑コミュニティ・スクール（ＣＳ）は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み ・学校運営への参画 ・学校評価に関すること　他 ❑委嘱人員:28名(幌小中18名、問小中10名)	☆学校と地域が目標を共有し、地域の子どもを地域で育てる仕組みを整えた ☆幌延地区３回、問寒別地区３回の会議を開催し、委員からは、学校運営基本方針の承認をはじめ、学校評価に関する様々な意見や質疑がなされ、実態に応じた学校運営が図られた	継続 ＊社会に開かれた教育課程の実現を目指す ＊小中一貫校開校に向けた熟議
			■小中一貫教育の推進 ❑幌延中学校区小中一貫校実施設計の実施 ・小中一貫校建設基本設計業務　222,376千円 （R7：131,208千円、R8：91,168千円）	☆小中一貫校の令和１０年度開校を目標に、基本計画に基づく実施設計業務を委託した	継続
			■学校施設の整備 ❑問小 遊具（ジャングルジム）新設　2,632千円 ❑幌小 仮設シャワーユニット設置　1,045千円 ❑幌中 小荷物専用昇降機修繕　378千円 ❑幌中 体育館地下タンク改修　3,080千円	☆各学校について、計画的な改修を進めて行く ☆安心安全で環境にやさしい学校づくりを推進した	継続 ＊適正な維持管理
			■教職員住宅の整備 ❑教員住宅修繕　1,951千円 ・幌延地区教員住宅内外修繕　他 ・問寒別地区教員住宅内外修繕　他 ❑教員住宅整備事業　119,156千円 ・教員住宅建設　木造２階建　２棟８戸	☆教職員の安心･安全な生活環境を整えた ☆計画補修事業（幌延地区３カ年、問寒別地区２カ年）に基づく補修については、悪天候等の理由により実施できなかったため、Ｒ８にまとめて実施 ☆教員住宅建設工事は、Ｒ７・Ｒ８で実施	拡大 ＊計画的環境整備 ＊Ｒ８まで継続
			■中体連部活動支援 ❑中体連部活動支援 ・幌延中学校(陸上･バドミントン･吹奏楽) ・問寒別中学校(バドミントン部) ❑スポーツ少年団活動への支援 ・野球・バレーボール・剣道・柔道少年団に所属する中学生の活動を支援する	☆用具や中体連経費の補助、スクールバスの運行等の支援を行い、指導教員や生徒が部活動に集中できる環境を整備した ☆生徒数の減少により集団活動が難しい中、生徒の希望に応じ、少年団活動や外部指導者との連携などを推進した ☆部活動の地域移行に向けた協議を実施した	継続

担当 区分	担当 執行方針要点	総務学校係 個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	方向性（拡大・継続・改善・縮小・廃止）
			■スクールバスの運行 ❑スクールバス運行事業 ・幌延地区　３路線 ・問寒別地区　２路線	☆安心で安全な運行のため運行会議を行った ☆スクールバスを計画的に更新する必要がある	継続
		◎ 教職員の資質、指導力の向上	■教職員研修の実施 ❑幌延町教育研究所 ❑幌延町内３校校内研修	☆共同研究組織としての教育理論や実践研究の推進を図ることができた ☆ＷＥＢ会議サービスを活用した研修を通して教職員の資質や指導力の向上を図った	継続 ＊事業の継続要望
			■学校における働き方改革の推進 ❑アクションプランに基づく取組の推進 ❑働き方改革推進事業の取組（推進校：幌小）	☆学校課題に応じた支援員等の配置により、教員の負担を軽減し、業務に専念できる環境を整備した ☆校務支援システムの活用し、事務の効率化及び教員の適正な出退勤管理を推進した	継続
			■学校訪問の実施 ❑義務教育指導監（学校経営指導）及び指導主事（学校教育指導）の訪問要請を行い、学校経営、教育課程、校内研究等への指導･助言の実施 ・経営指導訪問／教育指導訪問　各校２回実施	☆教育課題・学習指導等について研究協議をし、教職員の指導力の向上が図られた	継続 ＊授業力の向上
			■教職員評価の取組 ❑平成20年4月1日施行 学校教育目標や経営方針･重点を踏まえ年間の自己目標等を設定 ❑当初面談、中間面談、最終面談の実施を通して課題解決に向かう取組の推進	☆自己評価、指導助言者からの助言を受け、１年間の成果や課題を明らかにし、次年度の目標や取組に繋げることができた	継続

3　幌延町社会教育施設の利用状況

区　　分	特色ある教育活動・経営の重点	❑社会教育の推進 学ぶ意欲、学ぶ心を育てるため、社会教育施設等を通し町民のニーズに対応した学習情報や学びの機会を提供し、ふるさと学習･芸術･文化スポーツ活動を進める。
社会教育 －第７次中期計画(R2～7)スローガン－ 共に学び･共に育み･共に創る　郷土に根ざすひとづくり	**◇生涯学習の推進** ○生涯学習の環境づくり ○学習機会・活動の充実 **◇生涯スポーツの振興** ○生涯スポーツの利用促進と施設等の整備 ○指導者の育成とスポーツ団体への支援 **◇芸術文化の振興** ○芸術文化事業の推進 ○芸術文化活動の促進	幌延町社会教育施設の利用状況　（令和７年度実績）

施設区分		件数	利用人数	令和6年度実績 件数	令和6年度実績 利用人数	増 件数	減 利用人数
幌延町生涯学習センター		479 件	6,923 人	493 件	7,382 人	▲ 14 件	▲ 459 人
問寒別生涯学習センター		346 件	3,378 人	413 件	4,536 人	▲ 67 件	▲ 1,158 人
総合体育館		344 日	11,732 人	348 日	13,480 人	▲ 4 日	▲ 1,748 人
学校開放事業	幌延小学校	161 件	1,673 人	111 件	832 人	50 件	841 人
	幌延中学校	134 件	1,592 人	103 件	2,027 人	31 件	▲ 435 人
	問寒別小中学校	34 件	213 人	38 件	249 人	▲ 4 件	▲ 36 人
金田心象書道美術館		251 日	874 人	295 日	1,030 人	▲ 44 日	▲ 156 人
郷土資料展示室		243 日	220 人	243 日	229 人	0 日	▲ 9 人
幌延図書室		352 日	3,645 人	354 日	3,768 人	▲ 2 日	▲ 123 人
問寒別図書室		356 日	113 人	357 日	106 人	▲ 1 日	7 人
幌延町民プール（6月～9月）		91 日	1,073 人	99 日	1,187 人	▲ 8 日	▲ 114 人
問寒別町民プール（7月～8月）		45 日	350 人	50 日	345 人	▲ 5 日	5 人
東ヶ丘スキー場（12月～3月）		24 日	394 人	3 日	41 人	21 日	353 人
東ヶ丘スキー場管理棟		19 件	1,075 人	18 件	1,378 人	1 件	▲ 303 人
パークゴルフ場	(団体利用) (1日券) (シーズン券)	15 件 251 枚 38 枚	309 人	12 件 247 枚 41 枚	201 人	3 件 4 枚 ▲ 3 枚	108 人
野球場		32 件	392 人	43 件	793 人	▲ 11 件	▲ 401 人
ゲートボール場		6 件	52 人	101 件	379 人	▲ 95 件	▲ 327 人
球技場		5 件	58 人	31 件	283 人	▲ 26 件	▲ 225 人

４　社会教育　共に学び・共に育み・共に創る　郷土に根ざすひとづくり

担当		社会教育係	事業内容	点検・評価と課題	方向性（拡大･継続･改善･縮小･廃止）
区分	執行方針要点	個別事業名			
社会教育 共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり	◇ 生涯教育の推進	◎ 生涯学習の環境づくり	■学習意欲を高める情報提供 ❑町ホームページへの情報更新 ❑社会教育だよりの発行　年12回発行 ❑体育館だよりの発行　　年12回発行 ❑告知端末機を活用した事業開催案内	☆ホームページは遅滞なく適宜更新することができた ☆各事業の活動の様子や結果報告、開催案内、募集案内などを解りやすく町民に周知するよう努めた ☆効果的な活用が図れるように努めた	継続 ＊告知端末機の効果的活用
			■地域教育力の向上 ❑子育て支援、ボランティア人材登録と活用（幌延・問寒別） ❑家庭教育サポート企業の登録 ㈲伊藤商店、㈱道北物流、㈲問寒別軽送、天塩ハイヤー㈱、幌延郵便局、問寒別郵便局 ❑家庭教育の推進 家庭教育学級の開設 幌小３回／幌中２回／問小中３回	☆幌延、問寒別の地域子ども教室では、地域のボランティアスタッフによる身近な遊び交流等を通して、放課後の安全･安心事業を進めた ☆家庭教育サポート企業（現在、町内６社が道教委と締結）の啓蒙と企業の理解を深めていく ☆家庭教育学級の開設と町ＰＴＡ連絡協議会及び宗谷管内ＰＴＡ連絡協議会の研究大会との連携を進めた	継続 ＊人材の活用と確保 ＊地域の子育て支援 ＊家庭教育の推進
			■学習相談体制づくり ❑生涯学習アドバイザーの委嘱(H18.4.1～) ・学習支援、相談、情報提供に関する環境づくり	☆幌延町の特性を生かし、主催事業の講師や町民の生涯学習活動を支援した ☆サロベツ原野でたくましく生きる動植物の生態、繁殖、四季の移り変わりを大型モニターやパネル等で公開した	継続 ＊地域人材と生涯学習アドバイザー
			■子どもの健全育成の推進 ❑放課後子ども教室推進事業 ・地域の大人の協力で、子どもたちとともに勉強やスポーツ･文化活動･交流活動等の取り組みを推進する ・幌延小　こども27人、ｽﾀｯﾌ７人　開催20日 (ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ0名/活動推進員4名/ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ3名) ・問寒別小　こども９人、ｽﾀｯﾌ８人　開催38日 (ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ1名/活動推進員4名/ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ3名) ❑ワラベンチャー問寒クラブ事業 動物探検ツアー、親子釣り大会、スノーモビルランド ・体験、交流活動の推進 ・ボランティア活動の推進 ・会員43名	☆小学生を対象に異年齢の児童36名の登録、15名のスタッフで、放課後の安心安全事業を進めた ☆地域のボランティアと児童の交流が図られ、安心・安全な地域づくりに役立った ☆子どもたちにケガや事故のないよう自主活動を見守る活動推進員の確保に努めた ☆問寒別地域を中心にした自然体験活動を支援した親子や地域交流、異年齢交流等を通して、子どもたちの心に「ふるさと」をしっかり根付かせる取り組みに対し、支援を行った	継続 ＊地域の子育て支援

担当		総務学校係	事業内容	点検・評価と課題	方向性
区分	執行方針要点	個別事業名			（拡大･継続･改善･縮小･廃止）
		◎ 学習機会・活動の充実	■学習機会の提供 ❑ふるさと体験チャレンジ事業の実施 ・年６回計画、６回開催 ・地引網＆釣り体験、カヌー体験、職業（消防士）体験、酪農体験、そば打ち体験、雪と遊ぼう ❑朝活事業の実施(夏休み：7/25～8/4　７日間) 朝活事業の実施(冬休み：1/8～10　　３日間) ❑生きた語学を学ぶ機会の提供 ・ＡＬＴ(ｱﾚｸｼｽ氏)及び宮古支援員の活用 ・英語学習会６回 ❑生きがい教室の開催 ・年６回開催 ・学習会「ほろのべの防災」（まちいちカフェとのコラボ）、町外視察研修、ﾌﾛｱｶｰﾘﾝｸﾞ、映画上映会、調理実習＆ミニゲーム大会、ヨガ教室	☆ふるさとの自然や歴史・文化に親しむことができた ☆自分の住む地域を再発見し、大切にする心を育てることができた ☆郷土を愛し、誇りに思う心を育むことができた ☆長期休業中における望ましい生活習慣の定着を図ることができた ☆児童向けの英語学習会を開催し、ネイティブスピーカーを通して英語に慣れ親しむ機会を提供することができた ☆定期的な開催により、学習や語らいの場を提供するとともに、生きがいを持ち、楽しみながら生活してもらえるように努めた	継続 ＊ふるさと・地域・人を愛する心の育成
	◇ 生涯ｽﾎﾟｰﾂの振興	◎ 生涯スポーツの利用促進と施設等の整備	■スポーツ活動の振興 ❑各種スポーツ団体との連携と育成 ・子ども運動教室　５回実施 ・各種大会　　８大会実施 ・一般向運動教室　１回実施 ・スポーツ合宿　　１回実施	☆スポーツ推進委員･スポーツ協会･各種スポーツ団体との連携を図り、スポーツ教室や各種大会を企画し、実施することができた	継続
			■住民の社会参画活動を促進 ❑住民参画活動 ・町民フットサル大会	☆スポーツ協会加入団体以外のサークルが、社会体育事業に参画し競技･運営に協力した ※スキー大会は参加申込みが少ないため中止した	継続
			■社会体育施設を整備する ❑総合スポーツ公園野球場照明回路調査・改修 投光器不点灯調査　363千円 ❑総合ｽﾎﾟｰﾂ公園野球場地盤空洞化改修　5,918千円 ❑町民プール誘導灯本体交換修繕　480千円 ❑東ヶ丘スキー場シングルリフト減速機 ギヤオイル交換修繕　858千円 ❑総合体育館事務室床修繕　352千円 ❑総合体育館誘導灯本体交換修繕　1,755千円 ❑総体ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ機器更新　6,616千円 ❑上問寒地区体育館解体工事　12,716千円	☆経年劣化等による更新及び修繕	継続 ＊安心安全な施設機能の維持
			■社会体育施設の適正な管理運営 ❑スポーツ施設の適正な管理運営の推進	☆社会体育施設の適正な管理運営に努めた （利用状況参照）	継続

担当 区分	担当 執行方針要点	総務学校係 個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	方向性（拡大･継続･改善･縮小･廃止）
		◎ 指導者の育成とスポーツ団体への支援	■指導者の育成とスポーツ団体等への支援 ❑スポーツ団体等への支援 ・スポーツ少年団本部、スポーツ協会 ・大会出場支援　全道９件、全国２件	☆スポーツ協会、スポーツ少年団活動への支援に努めた ☆全道大会・全国大会へ出場する選手等への支援に努めた	継続
	◇ 芸術文化の振興	◎ 芸術文化事業の推進	■芸術・文化鑑賞会の提供 ❑舞台芸術鑑賞事業 「しげちゃん一座 楽しい絵本ﾄｰｸ&ﾗｲﾌﾞｼｮｰ」 ❑親子ふれあい人形劇 人形劇団「えりっこ」公演 ❑町内子どもの集い 「ケッチのパントマイムショー」 ❑生涯学習講座（映画上映会） 「九十歳、何がめでたい」 ❑心象館音楽の夕べ 「町民有志」「瀧村正樹とトイ楽団ｺﾝｻｰﾄ」	☆日頃、芸術鑑賞機会が少ない地域性の中、舞台芸術に接し、感動や生きる力、地域の文化振興を図ることができた	継続
			■文化活動団体等への支援 ❑文化団体等への支援 ・文化協会、町Ｐ連、幌子連、ワラベンチャー問寒クラブ ・大会出場支援　全道２件、全国３件	☆文化協会や文化活動団体等への支援に努めた ☆全道大会・全国大会へ出場する児童生徒への支援に努めた	継続
		◎ 芸術文化活動の促進	■芸術文化活動の促進 ❑書道文化の振興と心象館の活用 ・町内書初め展の実施（展示会＆表彰式） ＜展示会＞1/22～2/4(出展数94点) ・書初め会(一般･小中学生)の実施 1/15　小学生15名、中学生２名、一般３名 ❑心象館ギャラリー展＆書カフェ ・ギャラリー展　２回実施 ・書カフェ利用者（売上数）　延べ526個	☆書道への関心や理解を深めるとともに、地域の芸術文化の向上を図るため「書初め会」を実施した ☆心象館の適切な施設運営とともに、書カフェやギャラリー展を開催し、入館者の増員に努めた ☆心象館の空間を有効活用し、個人及び文化サークル等の活動を発表する機会を提供することができた	継続
			■社会教育施設の適正な管理運営 ❑教育・文化施設の適正な管理運営の推進	☆社会教育施設の適正な管理運営に努めた （利用状況参照）	継続
			■読書活動の促進 ❑図書室（コーナー）の利用促進 （幌延・問寒別） ・図書企画展６回　・団体貸出し０回 ・移動図書室７回　・読み聞かせ６回	☆各学校への団体貸出し、認定こども園・へき地保育所向けの移動図書室及び０～５歳の乳幼児とその保護者向けの読み聞かせ事業を実施し、本に親しむ機会の提供に努めた	継続

第３　点検評価に関する外部評価

１　外部評価者の意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条第２項の規定による、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会が行った点検及び評価に対し、次のとおり意見や助言をいただきました。

このことにより、点検及び評価の客観性を確保するとともに、いただいた意見等について、今後の施策、事業等に反映させてまいります。

２　点検及び評価に関する意見

❑高　木　健太郎 氏（国立大学法人北海道大学 名寄教育研究棟（北管理部）部長）

（１）教育委員会の活動

令和７年度は、５名の委員の方々が１２回の教育委員会議、１６件の学校行事・学校訪問、関連会議・研修会等に参加されています。加えて２４件の関連委員会の開催の他、幌延小中学校一貫教育のための検討部会も４回開催されており、多くの関連会議や委員会活動に積極的に取り組まれています。一貫校建設の工事費の高騰に対応して、実施設計期間を延長することとなりましたが、委員の方々の対応により、最小限の変更に抑えながら経費削減に取り組まれています。引き続き令和１０年度の開校にむけて、保護者や地域住民の意向を反映した一貫校開校にご尽力いただけますよう何卒よろしくお願いいたします。教育委員会議では、毎年の執行方針、計画、予算要求、報告、委員任命・委嘱の審議と報告が今年も適切に行われています。加えて、計４回の委員会が開催され、令和８年度から始まる第８次社会教育中期計画が策定されています。

総務学校係や社会教育係の適切な補助事業を通じて、地域社会が一体となった教育支援やスポーツ育成事業に貢献していると思います。全道や全国の文化スポーツ大会への参加者に広く助成を行い、町の文化スポーツ振興に貢献しており、これらの助成事業の継続を希望いたします。米価高騰に伴う学校給食会への助成により、保護者世帯の負担軽減に貢献しています。

（２）主な事務事業などの点検、評価について

学校教育の充実に関する６項目、社会教育に関する６項目の主要な執行方針について、当初の予定通りの成果をあげていると思います。

「学力・体力の向上」では、幌延小学校においては指導方法工夫改善加配と授業力向上改善推進事業加配、幌延中学校においては免許外教科担任解消加配と学校力向上に関

する総合実践事業加配によって、少人数指導や個別指導の充実が維持されています。一方で体育専科教員巡回指導事業は令和７年度までとのことで、今後も加配の維持・増員を強く希望します。全国学力・学習状況調査やＳサポートの結果の分析を基に、有効な学力向上プランを実行していただき、学力の確実な定着と学習意欲の向上に努めていただきたいと思います。

少年少女陸上記録会は令和８年度の第５４回をもって終了とのことで、残念ですが運動会や授業等との重複が解消される効果もあると思います。

「豊かな心の育成」では、幌中に配置された子供の心サポート相談員が、今年度も週３日、年４０週対応し、学校活動を通じて児童生徒の心のケアをしていただいており、引き続き親や担任教員と係わりあいながら悩みや不安を和らげる活動を継続していただければと思います。

「特別支援教育の推進」に関連して、令和７年度は１名増員されて、幌延小学校に支援員５名が配置されており、連携協議会の活動を通じて、児童・生徒の指導や心のケアがきめ細やかに行われています。これらの事業と支援員の維持継続を希望します。

「特色ある教育の推進」では、充実した英語・英会話学習が、ＡＬＴや外部講師、学習支援員の協力のもと推進されており、ＩＣＴ教育と並んで幌延町の先進的な取り組みとなっていると思います。継続した取り組みを希望します。一方で、自然や農業に触れ合う体験を提供することは、郷土のすばらしさを実感し、人間性を育成する効果が期待できます。継続したふるさと教育の充実も希望します。

「教育環境の充実」では、教員住宅の修繕や整備が計画的に行われています。今後も計画的な改修を継続していただければと思います。

「教職員の資質、指導力の向上」では、引き続き、支援員の配置や校務支援システムの活用、事務の効率化を通じて、働き方改革を推進していただければと思います。

地域の方々のご協力を受けながら、多様な学習機会の提供や体験・交流活動の企画・運営を通じて、幌延町第７次社会教育中期計画のスローガン達成にご尽力されています。社会教育施設の利用状況では、学習センターや総合体育館の利用人数の減少が気になります。

「生涯学習の環境づくり」では、放課後子ども教室は、地域のボランティアと児童、父母の交流を通して、安心・安全な地域づくりへの貢献も大きいと思います。今後も支援を継続しスタッフの維持確保に努めていただきたく思います。生涯学習アドバイザーの冨士元さんには、貴重な動物写真の公開を通して、幌延町の自然の豊かさを伝えていただいており感謝いたします。

「学習機会・活動の充実」では、今年度は、６件のふるさと体験チャレンジ事業やワラベンチャー問寒クラブ事業３件、英語学習会６回、生きがい教室を６回開催されていて、充実した活動内容となっていると思います。朝活事業も定着し、児童・生徒の長期休み中の生活習慣の向上に貢献していると思います。

「生涯スポーツの利用促進と施設等の整備」では、総合スポーツ公園の改修や総合体

育館トレーニング室の機器更新に加えて、上問寒地区の体育館解体工事も行われており、計画的な整備に加え、地域住民のニーズに応じた工事に対応していただいています。

（３）総合的に

点検評価報告書の項目が再整理されており、執行方針要点毎の事業の内容と点検・評価、および今後の方向性がわかりやすくなりました。今後とも適切な情報公開を期待いたします。教員の加配や支援員の配置、外部講師委託は継続・充実していただくことを強く希望いたします。

❑冨士元　寿　彦 氏（元 幌延町教育委員会委員）

（１）教育委員会の活動状況について

令和７年度に開催されました１２回の教育委員会議は、その都度適切な報告と審議がなされています。７回・９日の町議会と、１６回の学校行事・学校訪問の他、各種の会議、協議会、研修会、視察等への出席・参加が多数あり、教育委員の皆さんが積極的に活動されていたのをうかがえます。

教育委員会関連委員会の活動状況につきましても、１１の関連委員会がそれぞれに委員会議を開催し、各種の報告と計画等が協議されています。それと、幌延小中学校運営協議会・幌延中学校区小中一貫教育検討部会による小中一貫校の会議が４回行われ、実施設計内容についての報告協議がされています。令和１０年４月の開校に向け尚一層の取り組みを期待します。

教育委員会が交付した補助金は、総務学校係所管・社会教育係所管共に適切なものだったと思います。学力と文化スポーツの向上につながるものだと思いますので、これからも必要に応じた交付をお願いします。

（２）主要施策・事業等について

「学校教育の充実」につきましては、令和７年度も執行方針要点の「学ぶ権利の保証」に基づき、各学校がそれぞれの教育目標に向けての活動が進められており、教員の加配４名による指導方法の工夫改善が行われていました。継続しての加配教員配置による取り組みは、個別指導の充実や、新しいかたちの学びの授業力向上等につながるものだと思います。この先も続けて加配を要望して下さい。

「学習成果の活用」では、全国学力・学習状況調査の結果分析。宗谷管内子どもの学力向上「Ｓサポート」の活用により、北海道チャレンジテスト、Ｓサポート問題等の実施、結果分析。それを元に各学校で学力向上プランが作られ、全ての児童生徒の学力向上に向けての取り組みが図られていますので、よく活用されていると思います。

「体育学習」も、全国体力・運動能力等調査、各学級での新体力テストの実施と、結

果分析が行われ、授業等での改善・工夫が図られています。また、加配教員による小学校教員の体育授業の指導力向上と児童の体力向上の取り組みがされていますので、今後が期待されます。他にも学力と体力の向上に向けた取り組みがされていますので、高く評価したく思います。

「学校給食の円滑実施」では、安心安全な給食の提供が実施されており、７年度からは牛乳の他に米代相当の助成金も交付されていますので、米の値上がりが保護者の負担にならず良かったと思います。学校による保護者等ふれあい給食会は、給食に理解してもらうよい機会だと思います。アレルギー対象児童生徒への対応も図られ、学校栄養教諭の配置により食育指導が実施されていますので、食習慣の大切さを理解するためのよい取り組みだと思います。

「豊かな心の育成」のアンケート調査は、いじめ予防と実態把握の一端になると思います。子どもの心サポート相談員配置も、生徒の悩みを和らげる一助になる良いものだと思います。「読書活動の推進」も、活字離れの歯止めになり、多感な児童生徒たちには情操教育の一環になる良い取り組みだと思います。

「特別支援教育の推進」は、支援員の配置と連携協議会の設置により、支援が必要な児童に適切な指導が行われていますので、継続して取り組んでほしく思います。

「特色ある教育の推進」の「ふるさと教育と学習支援」は、幌延の恵まれた自然環境の一端に触れることができる良い学習の時間だと思います。森林教室・川の観察会・農業体験なども、ふるさとの自然と農業を知るとてもよい取り組みだと思います。

今年も行われた「漢検への補助」もよい支援なので、継続は良いことだと思います。

「国際理解教育の推進」では、学習支援員の授業サポートで、ＡＬＴ、外部講師による小中学校の英語科と、小学校の外国語・生活科の授業が行われており、英検の検定料補助もされているので、生徒たちにはよい学習の場になっていると思います。また、外国語教育だけでなく、国際理解教育も図られているので、子どもたちには大変役立つものになると思います。また、今後ますます発展する情報社会に対応するため「情報教育の推進」は、大いに期待できるものだと思います。既にＩＣＴを活用した授業や機器を使える教師育成が行われていますが、授業情報教育センターの運営と研究を推進し、それが授業に取り組まれることを要望します。

「教育環境の充実」では、学校施設・教職員住宅の整備が推進されており、好ましいことだと思います。

社会教育の「生涯学習の推進・環境づくり」ですが、事業の開催案内や募集案内などを事前に告知端末機と、町のホームページを使い通知されていました。それと、毎月「社会教育だより」「体育館だより」が発行されており、効果があったと思います。

「子どもの健全育成の推進」では、継続して幌延、問寒別の小学生を対象にした放課後子ども教室が開かれていました。地域のボランティアスタッフは大変だと思いますが、放課後の児童の安全と、地域とのつながりが深まるよい取り組みです。ワラベンチャー問寒クラブ事業は、地域で「ふるさとの自然体験活動」を、しっかりと実践している素晴らしいものです。ワラベンチャー事業への支援は、とても有意義なものです。今

後の活動が期待される事業だと思います。

「学習機会の提供」の、ふるさと体験チャレンジ事業は、子どもたちがふるさとの自然などに親しむことにより、何かを感じ思い出になるよい機会だと思います。今の子どもたちは自然に触れる機会が少ないので、それを提供できる良い取り組みです。

「生きがい教室の開催」も、何か生きがいの持てる生活が出来るような場を提供していてよいものだと思います。

「生涯スポーツの振興」は、スポーツ推進委員・協会・団体との連携で、スポーツ教室と大会を実施しており、効果があったと聞いています。経年劣化による施設の機器の交換、修繕がされており、体育館トレーニング室のトレーニング機器も更新されており、利用者には喜ばれるものと思います。

「芸術・文化事業の推進」では、舞台芸術鑑賞、映画上映会など５件が開催されています。鑑賞できて感動している人や、心待ちにしている人の多い事業になっています。

「芸術・文化活動の促進」では、町内書初め展と心象館書カフェギャラリー展が２回開催され。心象館の活用がされています。「町内書初め展」は書道への関心を深める良い企画だと思います。書カフェのギャラリー展では、町内の個人や文化サークルの作品が展示され好評を博しています。令和７年度のギャラリー展が少なかったのを寂しく思いました。

（３）総合的な点検・評価について

令和７年度も学校教育、社会教育共に大変幅広い内容の事業が展開されていました。限られた時間と職員の中で、継続・実践されたことに敬意を表します。

教育委員会の点検・評価報告書は、「事業内容」と「点検・評価と課題」が、それぞれ簡潔明瞭に分かりやすくまとめられており、方向性もほとんどのものが、継続になっているのが良いと思います。

幅広い年齢層のニーズに対応するのは大変ですが、今後も一層の進展がありますことを期待しています。